

第13回 埼玉アスレチック・リハビリテーション研究会のご案内

謹啓 清秋の候、先生方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
昨年に引き続き、第13回埼玉アスレチック・リハビリテーション研究会を下記のように開催いたします。
今年も多くの関係職種の方々にご参加いただき、闊達な討論の場になることを期待しております。
皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

敬具

第13回埼玉アスレチック・リハビリテーション研究会会長 森 芳久
(埼玉医科大学かわごえクリニック リハビリテーション科)

1. 日時 平成30年10月27日(土) 15:20～
2. 会場 埼玉医科大学かわごえクリニック 6階 大会議室(埼玉県川越市脇田本町21-7 TEL:049-238-8111)
(JR 埼京線「川越」駅下車 徒歩3分、東武東上線「川越」駅下車 徒歩3分、西武新宿線「本川越」駅下車 徒歩10分)

3. 内容

15:20～15:35【商品案内】 久光製薬株式会社より

15:35～15:40【開会の辞】 第13回研究会会長 森 芳久

15:40～16:30【一般演題】 座長 星川 淳人 先生(埼玉医科大学総合医療センター整形外科 講師)

- 1.「ソフトテニスのサーブ動作で肩痛、肩のしびれを呈した症例」

埼玉医科大学かわごえクリニック 理学療法士 新沼 慎平

- 2.「大学アメフト部 ACL 損傷予防の取り組みと保存療法で治癒に至った例について」

上尾メディカルクリニック・早稲田大学米式蹴球部 理学療法士 長瀬 エリカ

- 3.「異なる体幹筋エクササイズが胸郭可動性および体幹筋活動に及ぼす即時効果」

リバーシティすずき整形外科 理学療法士 上林 和磨

- 4.「MRI 所見・理学所見・解剖所見から考察したスポーツ選手の難治性 groin pain の病態」

JIN整形外科スポーツクリニック 院長 仁賀 定雄

- 5.「難治性鼠径部痛のアスレチックリハビリテーション」 JIN整形外科スポーツクリニック 理学療法士 草場 優作

16:30～17:50【シンポジウム】 座長 森 芳久 先生(埼玉医科大学かわごえクリニック リハビリテーション科 准教授)

テーマ:「みんなで考えるオーバーユース障害の予防と治療」

- ①『大学長距離選手の障害と予防』 榎部 静二 先生(城西大学経営学部マネジメント総合学科 准教授)

城西大学 男子駅伝部 監督)

- ②『受傷アスリートの胸の内』

荒井 弘和 先生(法政大学文学部心理学科 教授)

- ③『障害予防と回復のためのスポーツ栄養サポート』 金子 香織 先生(早稲田大学スポーツ科学学術院)

- ④『腱附着部障害に対する体外衝撃波治療』 杉田 直樹 先生(埼玉医科大学整形外科)

18:00～19:00【特別講演】 座長 酒井 宏哉 先生(埼玉県立大学保健医療福祉学部共通教育科 教授)

『1.サッカーリオオリンピック日本代表におけるメディカルサポート

2.スポーツ障害・外傷の病態解明と予防プロジェクト』

武富 修治 先生(東京大学大学院医学系研究科 整形外科学 講師 東京大学スポーツ先端科学研究拠点)

4. 会費 一般 2,000 円 学生 1,000 円

5. 定員 200 名 (会場の座席数が限られておりますのでご了承下さい)

6. 認定単位

日本整形外科学会教育研修会 1 単位 分野番号[2] [13]又は[S]スポーツ医

日医認定健康スポーツ医学再研修会 1 単位

日本リハビリテーション医学会生涯教育単位付与項目 10 単位

※受講費:日本整形外科学会研修単位、日本リハビリテーション医学会生涯教育単位 各々1,000 円

7. 参加申し込み方法

下記の事務局宛に「埼玉アスレチック・リハビリテーション研究会参加希望」として、電子メールまたは FAX にて①～③の事項を記入の上、お申し込みください。

- ①氏名(ふりがな)、②所属施設名・職種③連絡先郵便番号・住所・電話番号・メールアドレスあるいは FAX 番号

締め切りは平成30年10月20日(土)です。

<後援> 埼玉県整形外科医会、埼玉県健康スポーツ医会、埼玉県体育協会、埼玉県理学療法士会

<共催> 埼玉アスレチック・リハビリテーション研究会、久光製薬株式会社

事務局:埼玉医科大学かわごえクリニックリハビリテーション科 担当 森 芳久

TEL: 049-238-8292 FAX: 049-238-8273 E-mail: kcreha@saitama-med.ac.jp